

CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)デュオプレステージ東加古川	階数	地上10F
建設地	兵庫県加古川市	構造	RC造
用途地域	近隣商業地域、準防火地域	平均居住人員	4人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2021年2月 予定	評価の実施日	2019年10月21日
敷地面積	646㎡	作成者	(株)加藤建築事務所
建築面積	323㎡	確認日	2019年11月2日
延床面積	2,442㎡	確認者	(株)加藤建築事務所

外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.4

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ☆☆☆☆ 60%: ☆☆☆ 80%: ☆☆☆ 100%: ☆☆ 100%超: ☆

①参照値 100%
②建築物の取組み 91%
③上記+②以外の 91%
④上記+ 91%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 3.3

Q1 室内環境 Q1のスコア = 3.6

Q2 サービス性能 Q2のスコア = 3.2

Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 3.2

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.3

LR1 エネルギー LR1のスコア = 3.7

LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 3.2

LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.0

3 設計上の配慮事項		
総合	「省エネルギー」・「防犯性」・「健康生活」を基本コンセプトとし、建物デザイン、様々な建築仕様、設備計画を行い、暮らしやすい住環境を創造する。	
その他	0	
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
全住戸共、メインバルコニーを南面に設け日照を得られるように配慮した。 また、内装材には全てF☆☆☆☆の建材を用いることで健康的な生活空間を創造する。	外観はエントランス外壁とゲートのデザインを変えることで、単調な景観とならないように配慮。また、共用部、住戸内装デザインに至るまで明確なコンセプトのもとに緻密にデザイン。	アプローチ、駐車場出入口及びゴミ集積場を除く敷地には、植栽を設け、通りの連続性を失わないようにし、潤いを与え修景。 また、適度な外灯照明等で防犯性にも配慮した。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
高断熱、省エネ設計の建物に、共用部照明のLED化(一部デザイン照明を除く)など省エネ器具を採用し、大幅な省エネを計る。	節水コマ、節水型便器だけでなく、節水浴槽、手元止水付シャワー等、節湯機器を積極的に採用し、省資源、省エネに寄与する。また、エコマーク商品の採用にも力を入れる。	広告照明や過度なライトアップは行わず、光害の抑制、省エネに寄与する。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される